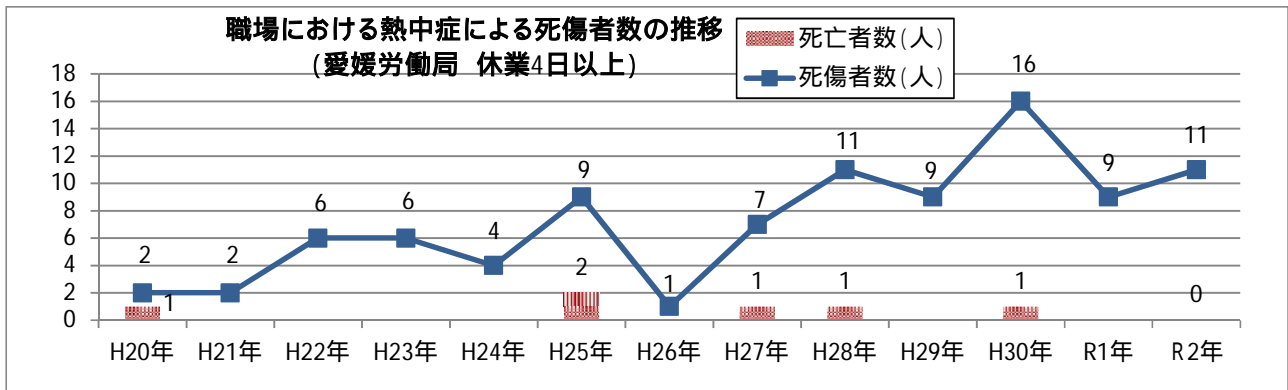
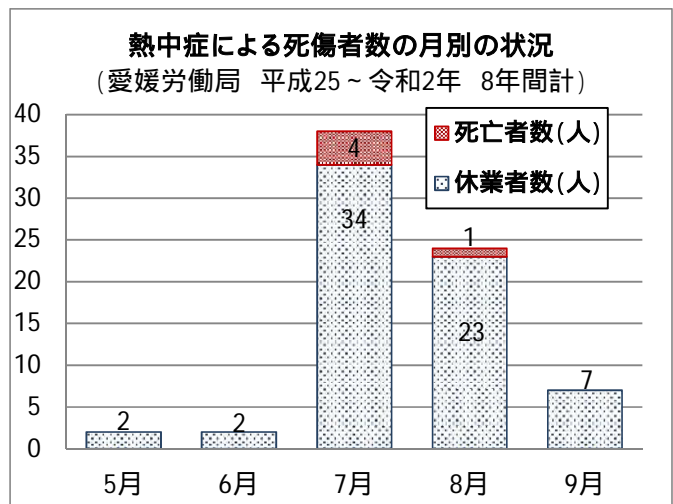
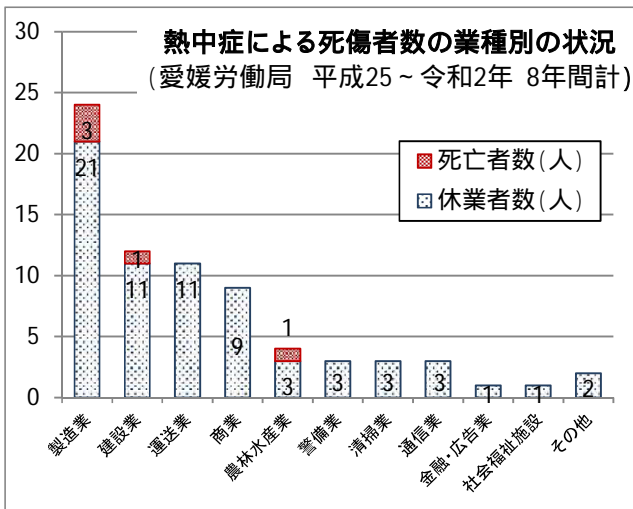


職場における熱中症による死傷災害の発生状況 (愛媛労働局 休業者数は休業4日以上)

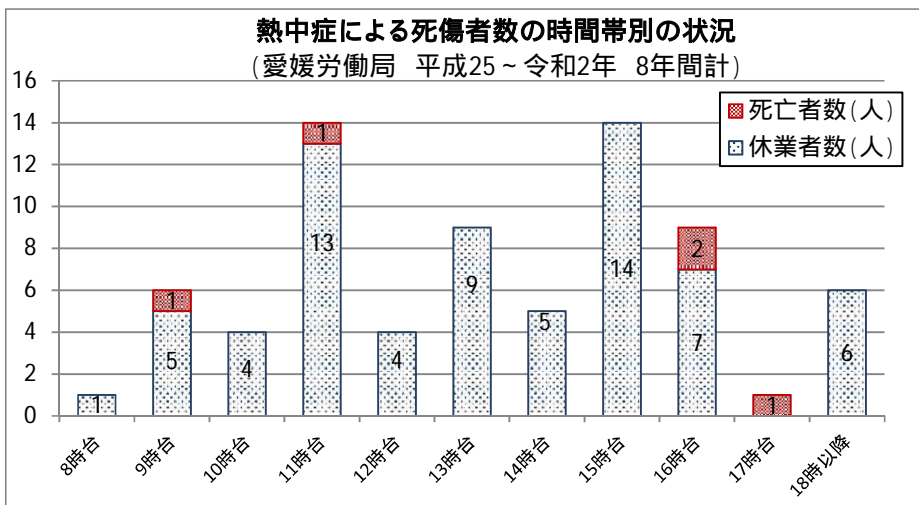


愛媛県における熱中症による死傷者数(休業4日以上)は、平成30年の16人が最多であり、令和2年には前年より2人増加し11人となった。



過去8年間(平成25年～令和2年)の熱中症の死傷者は、業種別では製造業が最も多く、死亡者も3名となっている。次いで建設業、運送業、商業の順となっている。

月別の発生状況では、7月が最も多く、次いで8月となっており、この2月で全体の84.5%を占めている。



時間帯別の発生状況は、11時台、13時台、15時台、16時台が多く、この時間帯に死亡者も3人発生している。

令和2年業種別発生状況(人)

	製造業	採石業	道路貨物運送業	林業	清掃業	警備業	合計
死傷者数	5	1	2	1	1	1	11
死亡者数	0	0	0	0	0	0	0